

外部倉庫を活用しませんか



播州倉庫株式会社のご提案



外部倉庫を活用しませんか

 播州倉庫

1. 仕入れ単位を拡大すれば、コストを下げられるのに...

保管場所が足りない。



- 海外からの仕入の際、フルコンテナ(FCL)なら、品質・コスト・納期共にレベルアップ、自由度アップでビジネスに寄与するけど、保管場所が足りない...
- 神戸港着→播州倉庫でデバンニング(*荷降ろし)→播州倉庫で保管→必要数を自社へ引き取り、又は販売先へ出荷
- 播州倉庫には、海上コンテナからの荷降ろしに必要な設備がありません！

* 手降し作業には対応していません。

* 消防法上の「危険物」はお取り扱いできません。

2. 生産単位を拡大すれば、コストは大幅に下がるのに...

保管場所が足りない。



製造品の切り替えロス、作業者の習熟など、どんな製造ラインでも頻繁な製造品の切り替えは、コスト増に直結します。

外部倉庫を使って、生産品を一旦外部に保管、販売・納入状況に従って引き取り・配送すれば、大ロット生産によるコストダウンが実現します。

* 消防法上の「危険物」はお取り扱いできません。

3. 限りある敷地は、有効に使いたい



- 生産ラインを増設したいが、敷地がいっぱい。隣接地の借地も買収もできない。離れた場所に第2工場では効率低下。このままではせつかくの拡販チャンスを逃してしまう！
- 保管スペースは外部倉庫に移転、事業拡大を図りませんか。一定の保管面積確保をお約束する「坪貸し」制なら、安心して事業に専念できます。
- *「坪貸し」: 保管料を従量(変動)制ではなく、固定して契約面積の確保をお約束。(不動産賃貸契約とは異なり、保管エリアの位置は特定しません。)

4. 自前の保管施設を増強、外部倉庫費用が減ってコストダウンだ！ ．．．というご決断の前にご再考を

- 外部倉庫代と移動費用は減の一方、減価償却費、倉庫運営経費は増えます。前者は変動費ですが、後者の多くは固定費です。固定費増でOK？
- 自前資金でコストダウンなら問題ないはず．．．市場、外部環境が激変する時代、内部留保資金(流動資産)を費消、固定資産を増してOK？
- 金融機関などからの借り入れで倉庫を建設すれば、貸借対照表上の「総資産」が増え、ROA(総資産利益率)は低下する場合があります。
- 在庫の数量推移はピークが高く、幅の狭い山形になりがち。在庫の全量を社内で保管しようとするれば、保管施設が満杯になるのは短期間。保管設備の平均稼働率は低くなりませんか？

* 倉庫事業者は多様な業種の在庫を集め、ピーク時期の異なる荷を組み合わせることで保管、年間を通じて高い設備稼働率を目指します。現場のコストダウンと並行し、他のモノサシも併用して、自家用倉庫建設の可否を検討されてはいかがでしょうか。



• お問い合わせ・ご相談はこちら

播州倉庫株式会社

671-0223

兵庫県姫路市別所町北宿859-1

電話番号:079-251-3101

創業:昭和17年(1942年)

会員:姫路商工会議所、姫路経営者協会、兵庫県倉庫協会 他

2021年8月10日

外部倉庫を活用しませんか

